



## 亀山市の下水道整備事業について

亀山市の公共下水道事業は、平成6年度から事業着手してきましたが、長年の懸案課題であった、鈴鹿川右岸、東部地区の阿野田、天神一部地域の公共下水道整備に着手します。

現在、整備が進められている県道亀山安濃線の鹿島橋に下水道管を添架する計画であり、鹿島橋が平成28年度末に供用する予定であることから、当地区の公共下水道整備については、平成26年度に測量と設計を行い、平成27年度から順次工事着手する方針です。

なお、本市の下水道整備進捗状況について、公共下水道は、平成24年度末で供用開始面積692.6㍍、普及率は45.6%です。

また、農業集落排水は、全体計画14地区のうち、既に13地区で供用開始しており、残る昼生地区は、平成26年度末の供用開始を目指し進めており、平成24年度末普及率は14.7%です。

よって、生活排水処理施設整備率は、浄化槽普及率の19.7%を含め80.0%となります。

市として、今後豊かな自然を守り、快適な生活を目指し、計画的に下水道整備を進めてまいります。